

学部・学科等の入学者受け入れ方針

1. 理工学部	・AP1: 高等学校までの教育の成果として、大学において理工学分野の学問を学ぶ際に必要な基本的な知識を修得している。 ・AP2: 授業における実験・演習に積極的に取り組み、社会や自然環境における様々な問題・課題に対して主体的に考え、学ぶことができる。 ・AP3: 本学で学ぶことによって自己実現し、他者とコミュニケーションしながら人や社会に貢献しようという意欲を持っている。 ・AP4: 世界的な実社会での課題や問題を考える素養を備え、その考えを自身でまとめたうえで他者に伝えることができる。 1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験、志望理由（スカラシップ選抜のみ）および面接試験（一般選抜Ⅲ期のみ）により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、理工学部総合理工学科のアドミッションポリシー（AP）に示した能力・資質を評価します。 2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準 学校推薦型選抜では、理工学部総合理工学科で学びを進めていくために必要な能力・資質を、以下のような基準と方法により評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP2・AP3に示す能力・資質を評価します。 調査書により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1・AP3に示す能力・資質を評価します。 面接試験における数学・理科学科に関する基礎的な質問により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1に示す能力・資質の評価も行います。 面接試験における上述以外の質問により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP2・AP4に示す能力・資質を評価します。 3. 総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ期）における評価方法と評価基準 総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ期）では、理工学部総合理工学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP2・AP3に示す能力・資質を評価します。 適性テストにより、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1に示す能力・資質を評価します。 面接試験における数学・理科学科に関する基礎的な質問により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1に示す能力・資質の評価も行います。 面接試験における上述以外の質問により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP2・AP4に示す能力・資質を評価します。 4. 総合型選抜（学びの探究）における評価方法と評価基準 総合型選抜（学びの探究）では、総合理工学科が設定する課題について、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う総合的な探究を行います。その成果について、「学力の三要素」全てを基準として、AP1・AP2・AP3・AP4に示す能力・資質を評価します。
2. 人文学部	(1) 国際コミュニケーション学科 ・AP1: 基礎的な教養を持っている人。 ・AP2: 英語又は中国語の学修に強い意欲を持っている人。 ・AP3: 異文化理解に対して強い意欲を持っている人。 ・AP4: 社会で使えるコミュニケーション能力を持っている人。 ・AP5: 自分の考えや行動に責任を持ち、しっかり自己管理ができる人。留学やグループワークなどの体験学習を通して、社会人基礎力を伸ばせる人。 1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験、志望理由（スカラシップ選抜のみ）および面接試験（一般選抜Ⅲ期のみ）により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、国際コミュニケーション学科のアドミッションポリシー（AP）に示した能力・資質を評価します。

2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準

学校推薦型選抜では、国際コミュニケーション学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。

調査書により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1・AP2・AP3・AP5に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。

3. 総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ期）における評価方法と評価基準

総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ期）では、国際コミュニケーション学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。

小論文により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。

面接により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。

4. 総合型選抜（学びの探究）における評価方法と評価基準

総合型選抜（学びの探究）では、国際コミュニケーション学科が設定する課題について、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う総合的な探究を行います。その成果について、「学力の三要素」全てを基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。

(2) 人間社会学科

・AP1: 高等学校までの教育の成果として、大学における教養教育及び専門教育を受けるために必要な知識・技能を修得している。

・AP2: 物事について論理的に考えようとする強い意欲を有している。

・AP3: 社会調査の方法に関心をもち、その方法を用いて社会的事象を分析したいという強い意欲を有している。

・AP4: 大学での学びを経て自己を確立し、人生について真摯に考えようとする強い意欲を有している。

・AP5: 現実の社会的な問題に関心をもち、さまざまな問題の解決に向けた行動をとるための素養を備え、他者と協働して取り組みたいという強い意欲を有している。

・AP6: 論理的に考えようとする素養を備え、自分の考えをまとめる意欲をもち、他者に伝えることができる。

・AP7: 多様な他者への関心を有している。

1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準

一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験および志望理由（スカラシップ選抜のみ）により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、人文学部人間社会学科のアドミッションポリシー（AP）に示した能力・資質を評価します。

2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準

学校推薦型選抜では、人文学部人間社会学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP5・AP7に示す能力・資質を評価する際の参考にします。

調査書により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1・AP2に示す能力・資質を評価します。

グループディスカッションにより、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP6に示す能力・資質を評価します。

3. 総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ期）における評価方法と評価基準

総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ期）では、人文学部人間社会学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP5・AP7に示す能力・資質を評価します。

小論文により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2・AP3・AP6に示す能力・資質を評価します。

面接試験により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP3・AP4・AP6に示す能力・資質を評価します。

4. 総合型選抜(学びの探究)における評価方法と評価基準

総合型選抜(学びの探究)では、人文学部人間社会学科が設定する課題について、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う総合的な探究を行います。その成果について、「学力の三要素」全てを基準として、AP2・AP3・AP5に示す能力・資質を評価します。

(3) 日本文化学科

- ・AP1: 日本の言語や文学、歴史、芸術についての基本的な知識を有している。
- ・AP2: 日本文化の事象を多面的かつ論理的に考察することができ、その考えを的確に表現し、伝えることができる。
- ・AP3: 国内外を問わず、文学や言語、芸術等の様々な社会的文化現象に興味があり、みずから文化に触れる能動性を有している。
- ・AP4: 積極的に他者と関わり、対話を通して相互理解に努めようとする態度を有している。

1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準

一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験および志望理由(スカラシップ選抜のみ)により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、人文学部日本文化学科のアドミッションポリシー(AP)に示した能力・資質を評価します。

2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準

学校推薦型選抜では、人文学部日本文化学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

面接により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP2・AP3・AP4に示す能力・資質を評価します。

3. 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)における評価方法と評価基準

総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)では、人文学部日本文化学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

課題文要約により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2・AP3に示す能力・資質を評価します。

面接により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP2・AP3・AP4に示す能力・資質を評価します。

4. 総合型選抜(学びの探究)における評価方法と評価基準

総合型選抜(学びの探究)では、人文学部日本文化学科が設定する課題について、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う総合的な探究を行います。その成果について、「学力の三要素」全てを基準として、AP1・AP2・AP3・AP4に示す能力・資質を評価します。

(4) 福祉実践学科

- ・AP1: 高等学校までの教育において幅広く学び、教養教育及び専門教育を受けるために必要な基本的な知識、生活者としての社会常識、情報検索などの社会生活に関する基礎的な技能・技術を備えている。
- ・AP2: 社会の課題や問題に対して、社会福祉の視点から論理的に考えるための素養を備え、それを口頭及び文章で表現することができる。
- ・AP3: コミュニケーション能力を有し、他者と協力して社会に貢献したいという強い意欲や態度を持っている。

1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準

一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験および志望理由(スカラシップ選抜のみ)により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、人文学部福祉実践学科のアドミッションポリシー(AP)に示した能力・資質を評価します。

2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準

学校推薦型選抜では、人文学部福祉実践学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。

エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP2・AP3に示す能力・資質を評価する際の参考にします。

調査書により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1・AP3に示す能力・資質を評価する際の参考にします。

面接試験により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP2・AP3に示す能力・資質を評価します。

	3. 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)における評価方法と評価基準 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)では、人文学部福祉実践学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP2・AP3に示す能力・資質を評価する際の参考にします。 小論文により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2・AP3に示す能力・資質を評価します。 面接により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP2・AP3に示す能力・資質を評価します。 4. 総合型選抜(学びの探究)における評価方法と評価基準 総合型選抜(学びの探究)では、人文学部福祉実践学科が設定する課題について、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う総合的な探究を行います。その成果について、「学力の三要素」全てを基準として、AP1・AP2・AP3に示す能力・資質を評価します。
3. 経済学部	・AP1: 高等学校の主要教科について基礎的な知識や技能を身に付けている。 ・AP2: 知識や情報を用いて問題を解決するための方法を自ら考え、他者に伝えることができる素養を備えている。 ・AP3: 主体的に勉学に励む意思を有している。 ・AP4: 自己を成長させ他者と協力して社会に貢献するという意思を有している。 1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験、志望理由(スカラシップ選抜のみ)および面接試験(一般選抜Ⅲ期のみ)により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、経済学部経済学科のアドミッションポリシー(AP)に示した能力・資質を評価します。 2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準 学校推薦型選抜では、経済学部経済学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP3・AP4に示す能力・資質を評価します。 調査書により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1・AP3に示す能力・資質を評価します。 面接試験により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP3・AP4に示す能力・資質を評価します。 3. 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)における評価方法と評価基準 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)では、経済学部経済学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP3・AP4に示す能力・資質を評価します。 小論文により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2に示す能力・資質を評価します。 簿記検定・数学技能検定・統計検定(いずれも所持者のみ)により「学力の三要素」のうち「①知識・技能」、「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2・AP3に示す能力・資質を評価します。 面接試験により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP3・AP4に示す能力・資質を評価します。 4. 総合型選抜(学びの探究)における評価方法と評価基準 総合型選抜(学びの探究)では、高校で実際に取り組んだ「学びの探究」における成果をポスター発表等の形式で報告してもらいます。その報告内容及び成果物について、「学力の三要素」全てを基準として、AP1・AP2・AP3・AP4に示す能力・資質を評価します。

4. 情報学部	・AP1:入学後の修学に必要な基礎学力としての高等学校までの諸科目の知識および文章理解力を有している人。 ・AP2:課題解決のために情報機器を適切に選択する素養を備える人、又それらを活用するための基本的な技術や技能を有している人。 ・AP3:与えられた課題や問題の解決に向けて「論理的思考」と「柔軟な判断」ができる人、又自身の思考や判断を適切に表現し伝えられる人。 ・AP4:複数の代替案から客観的に適切な選択肢を選ぶことができ、又その根拠を論理的に示すことができる人。 ・AP5:身近な課題を見付ける事ができ、その解決策を主体的に考える人。 ・AP6:情報学並びに周辺諸分野への深い関心を持ち、社会に積極的に貢献しようとする人。 1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験および志望理由(スカラシップ選抜のみ)により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、情報学部情報学科のアドミッションポリシー(AP)に示した能力・資質を評価します。 2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準 学校推薦型選抜では、情報学部情報学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP3・AP5・AP6に示す能力・資質を評価します。 調査書により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1・AP2に示す能力・資質を評価します。 面接試験により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP3・AP4・AP5・AP6に示す能力・資質を評価します。 3. 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)における評価方法と評価基準 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)では、情報学部情報学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP3・AP5・AP6に示す能力・資質を評価します。 適性テストにより、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2・AP4に示す能力・資質を評価します。 面接により、「学力の三要素」全てを基準として、AP1・AP3・AP4・AP5・AP6に示す能力・資質を評価します。 4. 総合型選抜(学びの探究)における評価方法と評価基準 総合型選抜(学びの探究)では、情報学部情報学科が設定する課題について、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う総合的な探究を行います。その成果について、「学力の三要素」全てを基準として、AP1～AP6に示す能力・資質を評価します。
5. 教育学部	・AP1:教育活動をするうえで必要な技能についての基礎的な資質・能力を有している人。 ・AP2:学校教育又は保育・幼児教育の主体的な学習を経て自己を確立し、多様な人々と適切なコミュニケーションをとることができる人。 ・AP3:教育や関連する領域において適切に思考・判断する基礎的な資質・能力を有している人。 ・AP4:保育や教育に関心をもち、真摯に学習する態度とその分野の仕事をしたいと意欲を有している人。 ・AP5:学校教育又は保育・幼児教育を学習する基礎的学力や理解能力を有している人。 1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験および志望理由(スカラシップ選抜のみ)により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、教育学部教育学科のアドミッションポリシー(AP)に示した能力・資質を評価します。

	2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準 学校推薦型選抜では、教育学部教育学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP2・AP4に示す能力・資質を評価します。 調査書により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1・AP3・AP5に示す能力・資質を評価します。 口頭試問により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 3. 総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ期）における評価方法と評価基準 総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ期）では、教育学部教育学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP2・AP4に示す能力・資質を評価します。 小論文等（コースにより異なる）により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 面接により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 4. 総合型選抜（学びの探究）における評価方法と評価基準 総合型選抜（学びの探究）では、教育学部教育学科が設定する課題について、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う総合的な探究を行います。その成果について、「学力の三要素」全てを基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。
6. 経営学部	・AP1: 高等学校までの教育の成果として、大学における教養教育及び経営学部経営学科における経営に関する専門教育を受けるために必要な基本的な知識・技能を修得している。 ・AP2: 多摩地域をはじめ周辺地域や全国に対する実社会の課題や問題に関して、幅広く論理的に考える素養を備え、その考えを自身でまとめ、他者に伝えることができる。 ・AP3: 経営に関する実践的な学びに能動的に取り組み、様々な課題や問題に対して、自ら主体的に考え、解決に向けた行動を取るための素養を備えている。 ・AP4: 大学での学びを経て自己を確立し、他者と協力して社会に貢献したいという強い意欲を有している、かつ、以下のような経営学部の6つのコース・カリキュラムに対応した興味・関心及び意欲を有している。 1. 地域をフィールドに商品・サービスに関する企画・デザイン・マネジメントに興味・関心を有し、多様な主体と新しい価値を共創する意欲のある人。 2. 観光をはじめ、ホスピタリティ、ブライダルビジネスなどサービス業に興味、関心を有し、関連する業界での就業を目指す意欲のある人。 3. 企業の事業承継及び商品開発や新規事業開発、起業などの新しい価値の創出について必要な知識を学ぶ意欲のある人。 4. 金融及び会計の知識や技法を身につけて、金融機関での活躍や会計系専門職（公認会計士、税理士など）としての活躍を目指す意欲のある人。 5. 経営学全般の学習と実践を通じて、実務家としての基礎能力を高め、民間企業及び官公庁・公共サービスの即戦力として活躍する意欲のある人。 6. 野球、サッカー、バスケットなどのプロスポーツに興味をもつ人、eスポーツやゲーム産業などに興味をもつ人、映画・アニメ、テレビ、インターネットなど映像産業に興味をもち、関連するこれらの業界での就業を目指す意欲のある人。 1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜における評価方法と評価基準 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜では、科目別の学力試験により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、経営学部経営学科のアドミッションポリシー（AP）に示した能力・資質を評価します。 2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準 学校推薦型選抜では、経営学部経営学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP2・AP4に示す能力・資質を評価します。 調査書により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1に示す能力・資質を評価します。 面接試験により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP3・AP4に示す能力・資質を評価します。

	3. 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)における評価方法と評価基準 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)では、経営学部経営学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP2・AP4に示す能力・資質を評価します。 小論文により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2・AP3に示す能力・資質を評価します。 面接により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP3・AP4に示す能力・資質を評価します。 4. 総合型選抜(学びの探究)における評価方法と評価基準 総合型選抜(学びの探究)では、経営学部経営学科が設定する課題について、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う総合的な探究を行います。その成果について、「学力の三要素」全てを基準とし、特に「②思考力・判断力・表現力等」「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を積極的に評価し、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。
7. デザイン学部	・AP1:企画し表現するデザインに興味がある人。 ・AP2:他の人に何かを伝えることに興味がある人。 ・AP3:ものごとを筋道立てて考えることができる人。 ・AP4:困難があっても粘り強く取り組むことができる人。 ・AP5:他の人と積極的に協力して物事に取り組むことができる人。 1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験および志望理由(スカラシップ選抜のみ)により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、デザイン学部デザイン学科のアドミッションポリシー(AP)に示した能力・資質を評価します。 2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準 学校推薦型選抜では、デザイン学部デザイン学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 口頭試問により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」、「②思考力・判断力・表現力等」および「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 3. 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)における評価方法と評価基準 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)では、デザイン学部デザイン学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 小論文により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP2・AP3に示す能力・資質を評価します。 口頭試問により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP1・AP2・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 4. 総合型選抜(学びの探究)における評価方法と評価基準 総合型選抜(学びの探究)では、デザイン学部デザイン学科が設定する課題について、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う総合的な探究を行います。その成果について、「学力の三要素」全てを基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。

8. 心理学部	・AP1:国語・数学・英語の基礎学力を備えている人。 ・AP2:客観的な事実やデータを基に、ものごとを論理的に考え、判断し、そのプロセスを正確に他者に伝えられる人。 ・AP3:心理学の幅広い領域のうち、自己の内面としての「心」にだけでなく、自己と他者や環境との関わりとしての「心」にも関心を向けられる人。 ・AP4:実験・検査・調査・統計処理・外国語文献読解など人間を理解するための様々な方法の修得に意欲的に取り組める人。 ・AP5:友人や教員と協調して、自ら目標を定め計画的に学びを深めていける人。 1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験および志望理由(スカラシップ選抜のみ)により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、心理学部心理学科のアドミッションポリシー(AP)に示した能力・資質を評価します。 2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準 学校推薦型選抜では、心理学部心理学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 調査書により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1に示す能力・資質を評価します。 面接試験により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を基準として、AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 3. 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)における評価方法と評価基準 総合型選抜(Ⅰ・Ⅱ期)では、心理学部心理学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 小論文により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2に示す能力・資質を評価します。 口頭試問により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 4. 総合型選抜(学びの探究)における評価方法と評価基準 総合型選抜(学びの探究)では、心理学部心理学科が設定する課題について、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う総合的な探究を行います。その成果について、「学力の三要素」全てを基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。
9. 建築学部	・AP1:建築学を学ぶ上で必要となる基礎学力を有している人。 ・AP2:世の中の様々な環境の変化に関心を持ち、学んだ知識と技能を用いて社会の課題や問題を解決しようとする意志を有している人。 ・AP3:社会の課題や問題に対して、正しく、的確な情報を収集し、論理的に考え、自ら判断することができる人。 ・AP4:自らの考えを自らの言葉でまとめ、他者に対して、正しく、的確に表現することができる人。 ・AP5:積極的に他者と関わり、自分と異なる考えや価値観を尊重しながら、他者と協調的な関係を築こうとする意志を有している人。 1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験、志望理由(スカラシップ選抜のみ)および面接試験(一般選抜Ⅲ期のみ)により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、建築学部建築学科のアドミッションポリシー(AP)に示した能力・資質を評価します。 2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準 学校推薦型選抜では、建築学部建築学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 調査書により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1に示す能力・資質を評価します。 面接試験により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。

	3. 総合型選抜 (Ⅰ・Ⅱ期)における評価方法と評価基準 総合型選抜 (Ⅰ・Ⅱ期)では、建築学部建築学科で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 適性テスト／小論文により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」を基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 面接により、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 4. 総合型選抜 (学びの探究)における評価方法と評価基準 総合型選抜 (学びの探究)では、建築学部建築学科が設定する課題について、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う総合的な探究を行います。その成果について、「学力の三要素」全てを基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。
10. データサイエンス学環	・AP1: 数理学・統計学・情報学を中心として、大学で学ぶために必要な語学、数学や情報に関する基本的知識・技能を習得している。 ・AP2: 課題や問題の解決に向けて、柔軟な発想を持ち、論理的に考えて的確に判断する素養を備えている。 ・AP3: 人や社会とデジタルデータとの関わりに関心を持ち、データを分析することによって見いだす新たな価値を、人や社会のために活かしたいと言う意欲を有している。 ・AP4: 未知の事柄について、真摯に学び続けることに意欲を有している。 ・AP5: 自らの考えやデータ分析から得られた新たな知見を、会話や文章表現などを適切に用いて他者に伝え、理解や共感を得ようとする姿勢を有している。 ・AP6: 自身のみならず他者の考えや価値観を尊重し、共に新たな知見を得ようとする姿勢を有している。 1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜における評価方法と評価基準 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜・スカラシップ選抜では、科目別の学力試験、志望理由 (スカラシップ選抜のみ) および面接試験 (一般選抜Ⅲ期のみ) により、「学力の三要素」のうち主に「基礎的・基本的な知識・技能」を基準として、データサイエンス学環のアドミッションポリシー (AP) に示した能力・資質を評価します。 2. 学校推薦型選抜における評価方法と評価基準 学校推薦型選抜では、データサイエンス学環で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 調査書により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」を基準として、AP1・AP2に示す能力・資質を評価します。 面接試験により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP1・AP2・AP3・AP5・AP6に示す能力・資質を評価します。 3. 総合型選抜 (Ⅰ・Ⅱ期)における評価方法と評価基準 総合型選抜 (Ⅰ・Ⅱ期)では、データサイエンス学環で学びを進めていくために必要な能力・資質について、以下のような方法と基準で評価します。 エントリーシートにより、「学力の三要素」のうち「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP4・AP5に示す能力・資質を評価します。 適性テストまたは小論文により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP1・AP2・AP3に示す能力・資質を評価します。 面接により、「学力の三要素」のうち「①知識・技能」と「②思考力・判断力・表現力等」と「③主体性を持ちつつ他者と協働する態度」を基準として、AP1・AP2・AP3・AP5・AP6に示す能力・資質を評価します。 4. 総合型選抜 (学びの探究)における評価方法と評価基準 総合型選抜 (学びの探究)では、高校における探究活動での成果について、まとめ・表現を行うプレゼンテーションを行います。またその内容に基づいた質疑応答を含む面接を実施します。これにより「学力の三要素」全てを基準として、AP1・AP2・AP3・AP4・AP5・AP6に示す能力・資質を評価します。